

学習フィードバックシート

プロジェクト名：ロボット型ユーザインタラクションの実用化 - 「未来大発の店員ロボット」を
ハードウェアから開発する - グループ名： GroupB

担当教員名： 三上貞芳、鈴木昭二、高橋信行 学籍番号 1017211 氏名 奥村輝

1. 自己評価

評価項目	自己評価 (点数/満点)	評価基準
出席	10 /10	無断欠席回数： ・ 0回(10点) ・ 1回(5点) ・ 2回(0点)
週報	7 /10	標準点：7点 ・ すべて提出したか？ 不備はないか？ ・ 提出期限は守られているか？ ・ 報告事項の内容は十分か？
グループ報告書	7 /10	標準点：7点 ・ 誤字、脱字はないか？ 様式、体裁は整っているか？ ・ 十分な記述量があるか？ ・ 内容に矛盾がなく、再現性や合理性があるか？ ・ 客観的な記述がされているか？
発表会	8 /10	標準点：7点 ・ ポスターはわかりやすいか？ ・ 聴講者に理解してもらえたか？ ・ 説明方法は適切であったか？
外部評価	5 /10	標準点：7点 ・ 発表会やアンケートを通じた外部からの意見の評価・ 検討を十分行ったか？ ・ 外部意見を課題解決策に反映することができたか？ ・ 自分勝手な課題解決策になっていないか？
積極性・協調性	6 /10	標準点：7点 ・ 自ら積極的に課題を設定したか？ ・ 自ら積極的に課題の解決策を考案したか？ ・ 自ら積極的に課題を解決したか？ ・ 課題設定・解決のために議論を十分行ったか？ ・ メンバーとお互いに協力し合ったか？
計画性	12 /20	標準14点 ・ 適切な作業計画を立てることができたか？ ・ 適切な作業分担を行えたか？ ・ 計画通りに作業を進めることができたか？ ・ 必要に応じて柔軟に計画を修正できたか？
成果	14 /20	標準14点 ・ プロジェクト遂行に必要な知識・技術を獲得できたか ・ プロジェクトへの貢献は十分であったか 自分たちが納得できる成果が得られたか？
合計点	69 /100	

(注)週報の不備を、システム情報科学実習のホームページ→週報の提出確認のページから確認すること。

2.理由

出席は、欠席することなくできていた。週報は、期限に遅れてしまうことが少しあった。グループ報告書は、グループ全員で協力し、良い報告書ができたと思う。ただ、記述量が少し足りなくなってしまった。発表会は、中間発表に比べ、良い発表ができていたと思う。外部評価は、中間発表の際にもらった評価を成果発表に生かすことができた。積極性・協調性は、それぞれの個人作業になり、少しできていなかったところがあった。計画性は、グループごとの計画は立てることができていたが、個人個人の作業をしっかりと分担できていなかった。成果は、ロボットを無事完成させることができて良かった。しかし、ロボットの改善すべき部分やまだやりたいことがあるため、悔いが残る結果となってしまった。

3. 共同作業者によるコメント

山本侑吾：

ロボットの設計でとても協力的でいろんなアイデアや疑問を提案してくれたおかげでとても作業の効率が良かったです。また頭部の設計も任せることが出来たのでとても助かりました。

サイン _____ 山本侑吾

須田恭平：

彼はグループBのデザイン面の担当であり、ロボットの設計を行っていました。グループ内での活動では話し合いの要点をまとめてくれたり、疑問点を投げかけてくれたことで活動をうまく進めてくれました。また、3Dプリンタの出力に不備があった際にも大学に登校し対応してくれており、ロボットの完成に大きく貢献していました。

サイン _____ 須田恭平

對馬武郎：

主にロボットの設計を担当してもらいました。動作部分の機構を発案してくれて、繰り返し出力と微調整を行い、滑らかに動く関節を実現してくれました。

サイン _____ 對馬武郎

3. 担当教員によるコメント

教員サイン _____ 三上貞芳

教員サイン _____ 鈴木昭二

教員サイン _____ 高橋信行